

60周年記念冊子ー私の北新地物語ー

北新地の灯よ、いつまでも。

「東の銀座」と並び称される西日本一の高級歓楽街——大阪「北新地」。

この地をこよなく愛するクラブやラウンジといった社交界のママやホステスさん達によって、永年にわたり培い、受け継がれてきた「おもてなしの極意」が、北新地ファンの心をつかんで離さないと言っても過言ではないでしょう。

将来どのような時代の変化が起ころうとも、この北新地イズムをおもてなしが失われない限り、北新地の未来は輝き続けることでしょう。

この「私の北新地物語」をいつもバッグに入れ、折々みて取り出しては、心得ていたこと、忘れていたことを思い出しましょう。

挨拶



北新地社交料飲協会 理事長
60周年大会委員長
長瀧 敏郎

北新地社交料飲協会（KRK）は、昭和37年に天満バー組合として発足して以来、今年で60周年を迎えることが出来ました。現在は厚生労働省の認可団体で大阪府社交飲食業生活衛生同業組合（OSR）の下部組織として独立運営を行い、会員数は令和4年4月末で500軒を超え、大阪府下では最大規模を誇るまでに成長を続けてまいりました。

本年60周年を迎えるにあたり、記念活動の一つとして、いつでも気軽に読み返していただけの冊子「私の北新地物語」を作成する運びとなりました。

様々な方々の想いや思い出、教訓等々、読んでいて飽きない内容となっておりますので是非ご一読下さい。

これからも北新地社交料飲協会は、日本一居心地の良い街を目指し邁進して参りますので、皆様の一層のご賛同、ご協力等をお願い申し上げます。